



- ・ イベント開催レポート
- ・ 照明計画
- ・ プチ仮眠のオススメ
- ・ 社長のひとこと
- ・ イベント情報
- ・ 住宅取得支援策
(第3次補正予算案)
- ・ NEWS!



木の香る 健康な

”すまい便り” 増刊号 -2011.10-



思い出のある、この家で暮らしたい
～リフォーム完成見学会開催します！～

築約55年の家をリフォーム。

空家の時期もあり、全体に傷んでいました。思い切って二階を無くし、ムダの多かった一階のスペースを、シンプルでゆとりのある平屋の間取りにしました。

「古い木も活かせる所は残して欲しい、できるだけ自然素材を活用して欲しい」と施主様の希望があり、家を調査させていただいたところ構造体はまだまだしっかりしているのでそれを生かしたリフォームをおすすめしました。新しい木もムク材を使用し、他には湿気対策も行いました。結果、古い木と新しい木の融合で素晴らしい出来上がりとなりました。

徳矢住建には営業マンがいません。見学会では、現場監督が御案内しますので、無愛想に思わないでくださいね(笑)。

ご質問はどんどんどどうぞ！



写真は過去実績です



10月23日(日)
10:00~
16:00

場所
奈良県磯城郡
川西町
大字唐院
1218-6



「一室一灯」から「一室複数灯」

照明の分野で最近のキーワードが「一室複数灯」や「多灯分散」。いずれも、ひと部屋を多くの照明器具で照らす方法です。日本の住宅に多かった「一室一灯」は天井の中央に下げた照明器具一台で部屋中を照らしますが、一室複数灯では、天井以外にも明かりを分散して配置。その都度、点灯・消灯してその時に適した明るさを確保するものです。

照明が複数だと電力消費が増すと考えがちですが実は逆なんです。室内全体の明るさはこれまでより控え、必要に応じて明かりを足していくというのが多灯分散の基本的な考えだからです。

例えばリビングなら全体は20~50ルクス、これは街灯の下程度の照度でもいいのですが、読書をする場合には視力への影響を考えて明かりを足して、部分的に300~750ルクスにします。これが一室一灯なら、どんな作業にも対応できるよう1畳あたり10ワットを基準に照明を選ぶので、多少暗くても良い作業にも調整が出来ないと言う事から、一室複数灯の方が電力消費が少ない理由です。

これを踏まえて照明をうまく配置するポイントは

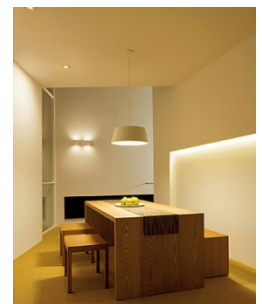
- ① 「明かりだまり」をつくる
- ② 壁や天井を照らす
- ③ 低いところを照らす

「明かりだまり」とは室内の他の場所より明るい部分で、食卓やリビングテーブルなど、作業面を照らす照明をつくる。視線が向きやすい壁などの面は、光が当たると広く見える効果があります。視線より低い位置に光源があると安らぎを感じると言われています。

快適に暮らすために、新築や改築時に間取りだけでなく、照明計画も楽しんでみてはいかがでしょうか？



← (左)
一室一灯



(右) →
一室複数灯

木の香る健康なすまい

徳矢住建 株式会社

お問い合わせは！

TEL (0742) 33-4389



徳矢住建株式会社

Tokuyama

http://www.tokuyajyukuken.co.jp/

健康

昼間の眠気を解消しスッキリ快適な午後を

午後2~4時は眠気に誘われる時間！この時間帯は眠気で交通事故や仕事のミスが多くなる「魔の時間帯」と言われています。「昼ご飯を食べてお腹がいっぱいになって眠くなる」そう思っている人が多いようですが、実は違うようです。人の自然のリズムが原因だそうです。

あくびが出るだけの人もいれば、どうしようもない眠気に誘われる人もいます。そうなったら…「プチ仮眠で眠気を覚ます」ことをお勧めします。そこで、プチ仮眠でスッキリした午後の時間を手に入れる方法を伝授します。

まず大事なことは「仮眠する時間」です。昼寝のあと余計にボーッとした経験がありませんか？これは長く寝すぎです。

寝る時間の目安は、深い眠りに入る前の15分程度が目安です。

次に姿勢は横になるのがベストですが、リクライニング式のイスの使用や、机の上うつ伏せになっても問題ない。

最後にスッキリ目覚める工夫ですが、これは朝の目覚めと同じ。目覚ましをかけて、起きた後は光を浴びたり顔を洗ったりして、ストレッチなど体を動かすとスッキリ目覚められます。

ただ、短時間で午後の眠気解消に効果があるプチ仮眠ですが、夜の寝不足を補えるほどの威力はないそうです。昼間の眠気を乗り切るためプチ仮眠を取り入れてどうですか？



社長の一言

皆様こんにちは。いつもご覧いただきありがとうございます。秋色いよいよ深く日増しに冷気も加わって参りました。皆様も健やかに過ごしのことと思います。

先月の9/23・24に弊社協力会、社員合計33名が、親睦旅行で九州に行き熊本城を見学致しました。熊本城の歴史を紹介致しますと、1607（慶長12）年加藤清正公 現熊本城完成。1877（明治10）年西南戦争開戦3日前原因不明の出火、天守閣等主要な建物が焼失。1960（昭和35）年天守閣再建。2008（平成20）年本丸御殿大広間を復元。建築業の私には、この本丸御殿の復元工事が地元の材料を使い、地元の業者や職人が技術の伝承も兼ねて携わったと聞き、大変意義深い事業をされたと感心しました。この機会に是非皆で見たいと思ひ、見学させていただきました。私達建築に関わる物づくりの集まりですが、今後ともお施主様の“お城”を、責任と気概とやりがいを持って、携わっていこうと気持ちを新たにしたいところがございます。実りの秋です。どうぞ皆様の努力が実りますようお祈りします。



代表取締役 徳矢 和士郎

イベント情報

プリザーブドフラワー教室

第2回！今回は、とってもお洒落な3way（クリスマス・お正月・デイル）壁飾りです♪

日時：11月19日（土）
10：00～12：00

場所：徳矢住建（株）内
会費：2000円



ちりめん細工教室

お正月に飾る鏡餅をちりめん細工で制作します

日時：12月17日（土）
9：30～12：30

場所：徳矢住建（株）内
会費：2000円（予定）



お問い合わせ、お申し込みは、**0120-81-4389**

取得支援

フラット35S、住宅エコポイント復活に890億円／国交省3次補正で方針

国土交通省は、第3次補正予算にフラット35の金利引下げを盛り込む方針を固めた。条件や優遇幅を見直して年度内に優遇制度を再スタートする考え。住宅エコポイントの復活とあわせ、890億円を要求する方向で調整を進めている。

適用対象を省エネルギー住宅に限定しす案が有力。金利優遇幅は、これまでの1%から圧縮する。

現在のフラット35Sは、省エネのほか耐震、バリアフリー、耐久性・可変性のいずれかに優れた住宅を取得した場合が対象で、当初10年間について、通常のフラット35よりも1%低い優遇金利を適用している。昨年2月から1%に拡大した。想定以上の利用があり予算を使い切ることから9月末で適用を打ち切り、本来の金利引き下げ幅0.3%に戻っていた。

NEWS

ガラスアート作品展が開催されます！

徳矢住建「陽だまりの家」で月2回ガラスアート教室を開講しています。

今回、教室の先生と生徒さん方で作品展を開催することとなりました！会場は、「陽だまりの家」ショップスペースです♪クリスマスイメージしてクリスマスツリーを置き、それにガラスアート作品を飾りつけたり、大きな作品を先生と生徒さんで共同制作される予定です！徳矢住建スタッフも今から楽しみ（^~^）

期間：11/29（火）～12/25（日）

11：00～15：00（予定）

※12/23（祝）はお休み

■ミニ体験教室あり（1回¥250）

来月号に詳細お知らせします。



※ 耐震相談・耐震診断受付中 お気軽にご相談下さい

木の香る健康な住まい

徳矢住建 株式会社

お問い合わせは！

TEL (0742) 33-4389



徳矢住建株式会社

http://www.tokuyajyuku.co.jp/